

## 〈寄稿論文〉

## 英語の女性接尾辞\*

神 崎 高 明\*\*

## はじめに

英語では男女の性別を区別するために様々な工夫をしている。その代表的なものは接尾辞を使用して、男女差を表すことである。たとえば、代表的なものとして、-ess (hostess)、-ette (usherette)、-trix (aviatrix) などがある。20世紀初頭に語法研究者として活躍した Fowler は、*MEU*<sup>1</sup> のなかで、男女を区別するこのような接尾辞は便利な用法であることを認めているが、その後、1960年代以降のフェミニズムの影響で、女性を表す接尾辞の使用は、この50年の間で大幅に使用が制限されてきた。本稿では、主に -ess の語を中心に女性を表す接尾辞を取り上げ、それらがどのような文脈の中で使用されたり、その使用が控えられたりしているのかを見ていく。

## 1. 男女を表す表現

## 1.1. he- と she-

英語の名詞で男女を表す表現には色々なものがある。性別を区別するために代名詞の he や she を限定詞 (attribute) として使う場合から見てみよう。次は動物の雄雌について使用された例である (Baron (1986: 113))。

- (1) a. he-lion, he-goat, he-wolf  
b. she-lion, she-goat, she-wolf

he や she が複合語として人間に対して使用さ

れる例を見てみよう。この場合、圧倒的に she の例が多く、he の例は少ない。

- (2) she-preacher (女牧師)、she bishop (女主教)、she pope (女法王)、she captain (女船長)、she-man (女みたいな男)  
(3) he-frump (やぼったい男)、he-whore (男娼)

人間に対して使用されるこの用法は *OED* によれば、16世紀から18世紀にかけて使用されたとのことであるが、現在ではほとんど用いられない。もし使用された場合は、たいてい軽蔑的な意味をもつ<sup>1)</sup>。

なお、she は男性に対しても使用される。その場合は「弱弱しい」の意味で用いられることが多い。

- (4) she-king (弱弱しい王)、she-he (女々しい彼)

また、lady, girl なども女性を表すために、しばしば限定詞として用いられる。

- (5) lady-actor, lady-bullfighter, lady-critic, lady-doctor, lady-farmer  
(6) girl-clerk, girl-graduate, girl-typewriter, girl-worker

(5) のように lady を語頭におくと、女性が、その職業についていることは珍しいという意味合

\*キーワード：ジェンダー、女性接尾辞、男性接尾辞

\*\*関西学院大学経済学部教授

1) he-man (男らしい男) は現在でも使用され、軽蔑的な意味はない。

いが出て来る。一方、girl を使用すると、文字通り「少女の」という意味合いが前面に出て来る。

### 1. 2. 指小辞 -ette と接尾辞 -trix

英語では、元来フランス語で使用されていた指小辞 (diminutive suffix) の -ette を使用して無生物の女性形を表す場合がある。代表的な語に cigarette などがある。この指小辞は 20 世紀になっても生産的で、kitchenette (簡易台所)、dINETTE (小食堂)、laundrette (コインランドリー)、leatherette (合成皮革)、luncheonette (軽食堂)、novelette (短編小説) などの語彙が生まれている。いずれも小ささやまがい物などの含意をもつ。人間に -ette を付けるのは、20 世紀になってからであり、suffragette (婦人参政権論者) に始まると言われる (AH Guide: 182)。この語の OED の初出は 1906 年であるから、20 世紀の初頭から使用されたものと思われる。この後、suffragette の類推で、chaufferette、sailorette などの語が誕生したが、現在使用されているのは、usherette (女性案内係) と majorette (バトンガール) 位である。

- (1) She was **usherette** at the Essoldo cinema, showing people to their seats. (BNC: AC5 2081)
- (2) The Sandrat lifted the **majorette** up, and tossed her away. (BNC: CH0 1455)

その他の接尾辞としては、-trix がある。-trix の代表例は以下のようなものである。

- (3) administratrix (女性の遺産管理人)、aviatrix (女性の飛行士)、executrix (女性の遺言執行者)、narratrix (女性の語り手)、testatrix (女性の遺言人)

これらは、以下の語彙の女性形である。

- (4) administrator, aviator, executor, narrator, testator

(3) に挙げた語彙は、現代英語では限られた文脈でしか使用されない。たとえば、administratrix,

executrix, testatrix の使用は、法律関係の語彙にほぼ限られると言ってよい。

- (5) Sophia Nuttall (widow & **administratrix** of Anthony Nuttall deceased). (BNC: HHK 253)
- (6) In his will of 1682 Neile is recorded as resident at Codnover Castle, Derbyshire. He died in London before February 1686, with Margaret, dowager Countess of Marlborough (widow of William Ley, fourth and last Earl) as sole **executrix**. (BNC: GTA 52)
- (7) We are not told who the petitioner is. But it seems most likely that it is either a potential beneficiary of this disposition, or one of the **testatrix**'s sons who is attempting to clarify his rights with respect to the land. (BNC: B2P 168)

しかしながら、これらの語彙についても、女性に対しても administrator, executor, testator が使用されることが増えている (MAU)。

また、aviatrix は、以下の (8) の例に見られるように、女性の飛行士の歴史を語るような文脈で使われるが、現代英語では aviatrix はほとんど使用されない。その代りに (9), (10) のように、aviator が女性にも使用される。

- (8) Hariet Quimby, a writer for *Leslie's Weekly*, in 1911 became the first American **aviatrix** and won international acclaim in 1912 as the first woman to pilot a plane across the English Channel . . . Was it better to call the female flier an airwoman or an **aviatrix**, or was it better not to discriminate and lump all fliers under one title, aeronaut? The *Times* finally reported that the neuter term aviator was acceptable for both sexes, although **aviatrix** remained a popular term. (Roger E. Bilstein (2001), *Flight in America: From the Wrights to the Astronauts*)
- (9) Jeanette McMahan, an Army **aviator**, could only shake her head.

(COCA : 2010 SPOK)

- (10) BESSIE COLEMAN The first Black woman **aviator**, she learned to fly from top pilots in France, where she earned her international pilot's license on June 15, 1921.

(COCA : 1993 MAG)

同様に、現在では *narratrix* もほとんど使用されない。

## 2. 接尾辞 -ess

### 2. 1. -ess の歴史

英語の中で女性を表す接尾辞で、これまでもっとも頻繁に使われていたのが -ess である。-ess は 12 世紀以降、中英語の時代にフランス語から英語に大量に借入された (*OED*)。countess、duchess、hostess、lioness、mistress、princess などがその代表例である。-ess の付いた名詞の大量移入によって、古英語より使用されてきた英語本来の女性を表す接尾辞 -ster が駆逐された。-ster で終わる語彙で、現在残っているのは *spinster* だけである (*MEU*<sup>3</sup>)。中英語から 1850 年の間にも、*OED* には多くの -ess で終わる名詞が掲載されているが、動物については *lioness*、*tigress*、*leopardess*、*pantheress* 以外は -ess を使うことはなくなっている。1895 年に発行された Archbishop Richard Chevenix Trench の著書 *English Past and Present* では、19 世紀になって急速に減少した語彙に -ess で終わる語があるということが指摘されている (*WDEU*)。このことから、-ess を語尾にもつ語彙は 17 世紀までは盛んに生成されたが、18 世紀にはその使用頻度に徐々に陰りができ、19 世紀には激減したといえる (Baron (1986: 121))。

20 世紀に入ると PC (politically correct) の関係で *Jewess* とか *Negress* というこぼは避けられるようになった。また、わざわざ -ess を付ける必要がないと思われる名詞 (*authoress*、*poetess*、*paintress*、*sculptress*) には -ess が付かなくなっている。特に、*interpretress*、*philosopheress*、*tutoress* は現在では廃語である。

現在も使用されていると思われる -ess の語彙の代表的なものは以下の通りである (*MEU*<sup>3</sup>)。

- (1) abbess, actress, adulteress, adventuress, ambassador, ancestress, benefactress, conductress, goddess, governess, heiress, huntress, instructress, manageress, mayoress, murderess, ogress, peeress, postmistress, priestess, procuress, prophetess, proprietress, protectress, seductress, songstress, temptress, traitress, votaress

なお、これらの語彙はすべて *COD*<sup>9</sup> に掲載されているものである。一般的に言って、-ess の使用は衰退の一途であるが、過去に -ess の存在を肯定した学者もいた。Fowler などは、その擁護者で、男女の区別があるほうが便利であるとした (*MEU*<sup>1</sup>)。また、現代でも、作家によっては -ess を好むものもいる。John Updike などはその 1 人である (*WDEU*)。

- (2) ... where he had learned to do the high-life (his **instructress**'s waist like a live, slow snake in his hands) (John Updike, *Bech Is Back*)

これらの例はあるが、-ess の使用はこれからも、さらに減っていくことが予測される。

### 2. 2. -ess と意味の下落

*author* や *painter* などのように -or や -er で終わる名詞の多くは、男女を区別するために語尾に -ess を付けることによって、女性形名詞を作った。男性形と女性形が出来上がると、女性形を表す接尾辞 -ess が付いた名詞は男性形のもつ意味と異なる意味を新たにもつようになった。このことから、一般に男性形は無標 (unmarked) であり、女性形は有標 (marked) であると言えることができる。たとえば、*manageress* は *manager* の女性形であるが、しばしばコインランドリーや小さな店の支配人という含意がある (*LGEU*, Graddol and Swann (1989))。次は社員食堂や服屋の女性店主の意味で使用されている例である。

- (1) ... and directly responsible to him was the Canteen **Manageress**, Miss Dolling.

(BNC : B2S 1510)

- (2) I was promoted to assistant manageress in the clothes shop, and worked a further eight months before leaving to have my first child. (BNC : CDK 987)

また、author でよいところを authoress とあえて言うのは、著者が女性であるということを取り立てて強調していると言えるが、authoress は現在では軽蔑的な意味をもつ。これは日本語においても当てはまり、作家の前に女流を付け「女流作家」というと軽蔑的な意味あいをもつことがある。

- (3) For instance, the distinction between author and authoress may carry more expressive than propositional meaning : authoress tends to have derogatory overtones, with author being the unmarked form for both sexes. (BNC : FRL 150)

19世紀の英国の小説家シャーロット・ブロンテ (Charlotte Brontë) の言った次の言葉からすると、当時も女性作家 (authoress) が偏見を持って見られていたことが窺える<sup>2)</sup>。

- (4) We had a vague impression that authoresses are liable to be looked on with prejudice. (Baron (1986 : 134))

このように女性形は男性形と比べて意味が下落することが多い。たとえば、governor は「知事」であるが、女性形の governess は「女性の知事」という意味も「知事の妻」という意味もほぼ廃語になっており、現在では「女性家庭教師」という意味しかない (OED)。

- (5) Well, all I know is Mr. Witherspoon has hired me as a governess for his eight-year-

old son, Christopher. (COCA : 2012 FIC)

conductor は「指揮者」と「車掌」の意味もっているが、conductress には「バスや電車の女車掌」の意味しかない (OED)。

- (6) With a series of long, jolting shudders, the tram halts. "Out of service, Citizens!" shouts the conductress. (COCA : 2004 MAG)

adventurer の第一の意味は「冒険家」である。第二の意味は「手段を選ばず、富や地位をあさる人」であるが、LDOCE<sup>3)</sup>によれば、第二の意味は「古風」(old fashioned) になっているとのことである。一方、女性形の adventuress の意味は adventurer とは違って、「冒険家」の意味より第二の意味である「手段を選ばず、富や地位をあさる人」の意味で使用することが多くなっている。しかも、「色仕掛けで、富や地位をあさる女」のように新たに「色仕掛けで」という軽蔑的な意味が加わっている (LGEU)。

- (7) She had not entirely lost the gipsy look of her earlier manifestations, but now, more ambitiously attired, appeared more like some sort of stage character, a dressed-up Bohemian, an artist's model, or an adventuress in disguise. (BNC : APM 988)

painter の女性形は paintress である。painter は「女性画家」であるが、paintress は「女性画家」というより、「商業的な陶芸の塗り絵師」の意味で用いられることが多い (LGEU)。

- (8) Our picture, courtesy of the Evening Sentinel, shows trainee paintress Amanda Moore of Mason's Ironstone giving demonstrations to visitors to the Wedgwood stand. (BNC : HBC 641)

2) ただし、19世紀のイギリスでは -ess 形をむしろ丁寧なことばであると見なしていた人々が一部にいた。以下の例に見られるように Lewis Carroll はその一人である。

(i) Mr. Lewis Carroll has much pleasure in giving to the editress of the proposed magazine permission to use . . .

(Lewis Carroll, letter, 6 Feb. 1888 [WDEU : 410])

上記の 1. 2. で見た usher の女性形の usherette の現在の意味は、「映画館や劇場の案内係」の意味であるが、男性形の usher の方は、もっと意味が広く、映画館や劇場に限らず、「教会や競技場、法廷など様々な所での案内係」を意味する。その意味で、usherette には意味の特殊化が起きていると言える。(9) は女性に対して usher を使用している例であり、(10) は女性に対して usherette を使用している例である。

- (9) Gbowee's family was active at St. Peter's, the largest Lutheran church in Liberia, . . . Her mother served as an **usher** and was on the women's committee. Gbowee attended vacation Bible school and served as an acolyte from the age of ten.

(COCA : 2011 MAG)

- (10) She was **usherette** at the Essoldo cinema, showing people to their seats.

(BNC : AC5 2081)

また、drum major は「軍楽隊の行進指揮者」あるいは「男性のバトントワラー」を意味するが、drum majorette は、「女性のバトントワラー」の意味だけで、「軍楽隊の行進指揮者」の意味はない。

- (11) He made the flowers a cane and twirled it like a **drum majorette**.

(BNC : FP7 2512)

- (12) And it was music to the **drum major** Gordon Parkes' ears when the band was awarded the prestigious 30-year-old silver Drumming Trophy and Premium Championship shield.

(BNC : K2A 347)

- (13) KING : Are you a music major?

LEE : Yes

KING : Are you in the band?

LEE : Yes

KING : You're a **drum major**?

LEE : No. I'm playing with the drum line, which is awesome. Because I used to do that in the high school.

(LKL : 2004. 12. 26)

(13) では、司会者が音楽隊の隊長 (drum major) だったか尋ねたとき、隊長ではなく、隊員 (drum line) だったと答えている場面である。

master は支配力をもつ人という意味の「主人」であり、その女性形の mistress は本来「女主人」という意味であるが、現在では「愛人」という意味で使われるのが普通である。以下の Lakoff (1975 : 28) の例を見てみよう。

- (14) a. He is a **master** of the intricacies of academic politics.

b.\* She is a **mistress** of the intricacies of academic politics.

- (15) a.\* Harry declined to be my **master**, and so returned to his wife.

b. Rhonda declined to be my **mistress**, and so returned to her husband.

上記の (14) の master と mistress は文脈から考えて、「支配力をもつ人」という意味で使用されていると考えられる。(14 a) では master はその意味で使用されているが、(14 b) の mistress は「愛人」の意味であるので容認不可能な文になる。一方、(15) の master と mistress は文脈から考えて、「愛人」という意味で使用されていると考えられる。(15 b) では mistress はその意味で使用されているが、(15 a) の master は「支配力をもつ人」の意味であるので容認不可能な文になる。master と mistress は過去には、「支配力をもつ人」という共通の意味をもっていたが、現在では全く異なる意味で使用されていることが理解される。

なお、次の (16) の例に見られるように、最近「ホームページの管理者」の意味で webmaster という語が使われることがある。

- (16) The **webmaster** is responsible for creating and publishing the website on the University's server. (COCA : 2007 ACAD)

webmaster に対応する女性形として webmistress

ということばもネット業界で使われることもあるようであるが、この使用は一部の者に限られている。*OED* には3例が挙げられているが、*COCA* には1例のみ挙げられているだけある。

- (17) In the hands of a Webmaster (or **Webmistress**) it can result in pages that combine impact and clarity. (*OED*)
- (18) Among the best: . . . , a chatty, detail-filled page maintained by the **Webmistress** of the Maturango Museum in nearby Ridgecrest. (*COCA*: 2004 NEWS)

mayor の女性形 mayoress は「女性市長」と「市長夫人」の2つの意味がある。同様に ambassador の女性形の ambassadress も「女性大使」と「大使夫人」の意味がある。-ess が性差別的であると考えられるようになったため、mayoress が「女性市長」の意味で、また ambassadress が「女性大使」の意味で使用されることは減少している (*LGEU*)。次は mayoress が「市長夫人」として使用されている例である。

- (19) The mayor, the **mayoress** and an obscure royal rode in the first sleek open limousine. (*BNC*: ECB 393)

ただし、これはイギリス英語に当てはまるだけであり、アメリカ英語では mayoress を女性市長の意味で、現在でも使用することがある (*OED*)。

- (20) They have ‘elected’ a very courageous woman whom they want to be their **Mayor-ess** when the FDR-FMLN take power. (*OED*)

### 2. 3. 方言と -ess

poetess, authoress など -ess で終わる語彙の多くは、アメリカ英語では古風 (archaic) な表現とみなされるが、イギリス英語でも、-ess が古風な表現であることには変わりがないが、アメリカ英語ほど敬遠されていないと *MAU* は言う。そのような例として manageress という語彙がある。この

語彙はイギリスの新聞などではよく見かけられ、*WDEU* もイギリス英語で、この語が頻繁に使用されることを指摘している。

- (1) Olive, a restaurant **manageress** who, like almost all the waitresses, lived locally and had been trained on the job by George. (*BNC*: CDF 174)

ここでは、イギリス英語のコーパスである *BNC* (約1億語) とアメリカ英語のコーパスである *COCA* (約4.5億語) を使って、英米での差異を確かめてみよう。

manageress については、イギリス英語のコーパスである *BNC* では97例であるが、アメリカ英語のコーパスである *COCA* では3例しか見つからなかった。因みに、authoress は *BNC* では22例、*COCA* では8例のみであった。poetess では、*BNC* では23例、*COCA* では42例であった。poetess に関しては、絶対数は *COCA* のほうが多いが、コーパスの総語数からすれば、依然としてイギリス英語の方で多用されると言ってもよいようである。以上のコーパスのデータから、-ess の使用は、イギリス英語のほうがアメリカ英語よりは多いということが確かめられた。

### 2. 4. *AHD* の語法調査

-ess の接尾辞をとる語彙が減少するにつれて、or, -er で終わる語が男性だけでなく、女性に対して使用されることが多くなっている。*AHD*<sup>5</sup> によれば、1997年に実施した *AHD* の語法委員会 (Usage Panel) の調査によると、(1) の文のように、sculptor を「女性の彫刻家」として使用している文を容認可能と認めたのは95%であった。

- (1) The gallery is exhibiting work of **sculptor** Barbara Hepworth.

また、78%の人が以下の文で、actor の使用を容認している。

- (2) Meryl Streep is considered one of the finest **actors** in the film industry.

このように、-or とか -er の接尾辞を女性に使用することは極めて多くなっており、waiter などいくつかの例外を除いて標準的用法になったと言ってもよい。sculptor や actor を女性にも使用することが可能と思っている人にとって、sculptress や actress は不要な語彙とみなされるわけである。

## 2. 5. 生き残る -ess

-ess の接尾辞で終わる語彙の使用は減少しているとはいえ、依然として語彙によっては、現在でも使用されているものもある。CDEU は、その例として世襲的な称号を挙げている。

- (1) countess, duchess, marchioness, princess

CGSAE は、これらの称号に加えて、次の語彙が現在でも使用されると言う。

- (2) goddess, waitress, hostess, stewardess, lioness

Holmes (1993) は 1986 年に完成したニュージーランド英語の文語コーパス (Wellington Corpus of Written New Zealand English: WNZC) を使って、-ess で終わる語彙に関してその出現頻度を調べている。この文語コーパスの語彙総数は 75 万語である。この WNZC コーパスで、-ess を出現頻度が多い順位に並べると、以下のようになる<sup>3)</sup>。

- (3) hostess(es) (10), actress(es) (8), waitress (7), Princess (5), princess (3), Duchess (3), goddess (3), deaconesses (2), governess (es) (2), Lioness (2), prophetess (2), shepherdess (es) (2), Countess (1), Empress (1), lioness (1), manageress (1), Protectress (1), authoress, baroness, duchess, editress, Electress, empress, heiress, Huntress, millionairess, Negress, ogress, patroness, peeresses, proprietress, Quakeress, stewardess, villainess (0)

Holmes (1993) は、WNZC での調査結果を、英国の LOB コーパス (1961 年) と米国の Brown コーパス (1961 年) とも比較しているが、それらは (3) の結果と大きな差異はない。

ここで、使用頻度が高い actress、hostess、waitress がどのような文脈の中で使用されるかを観察してみよう。これらの語自体も以前と比べれば使用頻度は下がっているが、それでも依然として使用されることがあるのは、これまで、女性の職業として長く使用されてきたことと関係がある (AH Guide)。これらの語彙に関しては、次項で考察することにする。

## 2. 6. actor と actress

英語の歴史を遡ると、actor は元々、役者の意味では通性的に用いられていたことが分かる。その後、男女の区別をするために actress が生まれた (Miller and Swift (1988: 136), 寺澤 (1997))。現在では、actor は男性だけでなく、女性にも使用されるが、BNC や COCA のコーパスでみる限りは、actor は圧倒的に男性に対して用いられることが多い。ただし、現在では一部の演劇、映画の女性関係者は、自分のことを actress より actor と呼ぶことを好むようである (AH Guide、CGEU、MAU)。(1) は actress が女性形に使われている通常の例である。

- (1) KING: Tonight, **Nicole Kidman and Julianne Moore**, rare in-depth personal with two of the most acclaimed **actresses** of our time, answering every question we all want to know. (LKL 2002. 12. 21)

次例は actor が女性に使用されている例である。

- (2) SIEGEL: I think something that helped Fran is the fact that **she's an actor**. (LKL: 2007. 3. 27)
- (3) Like any aspiring and talented young **actor**, **she** has an eye on overseas success but is

3) 各語彙の右側の数字が頻度数を表し、Princess, Duchess などの大文字は称号を表す。

not prepared to “waste” years of her life merely to go overseas and sit around waiting for an opportunity. (WB : oznews 0007)

- (4) But Farrah was eager to prove that she was more than a pretty pinup and TV sex symbol. **She** wanted to be taken seriously as a film **actor**. She realized the transition would not be easy. (COCA : SPOK)

また、次のように actor の前に、male や female を付けて男女の差異を表すこともある。

- (5) KING : She stars in “In the Bedroom”; it recently won the American Film Institute Award – she won, for best **female actor** of the year. (LKL : 2002. 1. 13)
- (6) KING : Any **male actor** you’d really love to –  
MOORE : Daniel Day Lewis.  
KIDMAN : Oh, God. (LKL : 2002. 12. 21)

なお、米国の映画芸術科学アカデミー (Academy of Motion Picture Arts and Sciences) が主催するアカデミー賞においては、依然として、Best Actor と Best Actress を使用している (MAU)。

- (7) And Steve Kazee, who is so terrific in it, won the **Best Actor** in a Musical. (COCA : 2012 SPOK)
- (8) This year she received a **Best Actress** nomination for her performance in “Blue Valentine.” (COCA : 2011 SPOK)

## 2. 7. host と hostess

host は元来、パーティやテレビのショーなどのホスト役の男性を指していたが、現在では女性も指す。以下の (1) の例は hostess が女性に対して使用されている通常の例であるが、(2) の she は Nancy Reagan を指しており、host が女性を指している例である。(3) はテレビのショーのホスト役の host が女性に対して使用されている例である。

- (1) He wanted my mother to stay because **she** was a good **hostess** and kept house well. (BNC : A73 2587)
- (2) **She’s** a gracious **host**. She hosted him at the Reagan Library, but she’s not pushing anyone to run or not to run for that matter. (COCA : 2011 SPOK)
- (3) At 41, **she** was **host** of the number one fitness show, had sold millions of copies of her 27 exercise videos, authored two best-selling books, was a consultant to the President’s Council on Fitness and Sports, and was the recipient of the U.S. jaycees Healthy America Fitness Leader Award. (COCA : 2005 MAG)

また、飛行機の客室乗務員の意味では、air hostess あるいは airline hostess は現在でもしばしば用いられる (Holmes (1993))。

- (4) Handing out chewing gum and chatting with passengers, an American Airlines Junior Stewardess pin fastened to my chest, I followed the **airline hostess** down the aisle. (COCA 2010 NEWS)

host には hostess がない意味もある。(5)、(6) のように「主催」を意味する場合、hostess は使用できない。また、(7) のようにホスト・コンピュータの場合も、hostess は使用できない。このように、host と hostess は意味的には左右対称の、いわゆる鏡像関係にはない。

- (5) Japan is playing **host** to its first World Championship Grand Prix this weekend. (MED<sup>2</sup>)
- (6) Houston was chosen as **host** city for this year’s conference because of its central location. (COCA : 2008 NEWS)
- (7) This was integrated into the **host computer**. (COCA : 2007 ACAD)

## 2. 8. waiter と waitress

上でみた host と同様に、waiter は女性にも使用されることがあるが、その例は限られている。AHD<sup>5</sup> は一般に -er, -or で終わる語彙は女性にも使用されることが多くなっているが、waiter はその例外だと言っている。Holmes (1993) は WNZC のコーパスの中に waiter を女性に使っている例が少なくとも 1 例あると言っているが、その例が少ないことには変わりがない。私の手元にあるのは、次のように、waiter を she で受けている例である。

- (1) When a tourist at the counter asks him for water, he says : "I'm not the waiter. She'll be along in a minute."  
(COCA : 2011 NEWS)

waiter が女性を示すことは一般的ではないので、アメリカ英語では waiter や waitress の代わりに性的に中立的な server を使用することも増えているようである (LDOCE<sup>5</sup>, OALD<sup>8</sup>)。

- (2) She asked our server for another glass of wine. (WALED)  
(3) Enjoy your meal. The server will be with you shortly. (COCA : 2012 SPOK)  
(4) I have no problem telling my server that I want my chicken grilled with no sauce, my fish broiled with no butter, and my vegetable steamed instead of sauted.  
(COCA : 2012 MAG)

また、アメリカ英語では、waitperson を使うこともある (OED, OALD<sup>8</sup>)。waitperson は COCA には 9 例あるが、いずれも文語として使用されている。

- (5) She's as impatient as she is talkative, and she stops the waitperson several times to check on the status of our meal.  
(COCA : 2007 FIC)

waitron は waiter と waitress の blending (混成)

であり、機械的な仕事のイメージをもつ -tron を語尾に付けて出来上がった語であり、初出は 1980 年である (Collegiate<sup>11</sup>, OED)。waitron はアメリカ英語であり (OED)、ユーモラスな文脈で使用されることが多い (LDOCE<sup>5</sup>)。

- (6) . . . it just means don't leave the poor waitron standing there while you talk around her. (COCA : 2002 FIC)  
(7) You can barely swallow a bite of food before a waitron, manager or restaurateur comes over to see if everything is OK.  
(COCA : 1997 NEWS)

## 結語

本稿では、特に女性形を表す接尾辞の中で、代表的な接尾辞である -ess に焦点を当て、その語のもつ意味や使用法に関して考察した。1960 年代以降のフェミニズムの影響で、女性を表す接尾辞の使用は、この 50 年の間で大幅に使用が制限されてきており、-ess の使用自体も全体としては減少しているが、語彙によっては、依然として使用頻度が比較的高いものもあり、同じ -ess を接尾辞にもつ語彙でも使用頻度にばらつきがあることを指摘した。

## 引用文献

コーパス

BNC : British National Corpus

COCA : Corpus of Contemporary American English

LKL : CNN Larry King Live Corpus

WB : Wordbanks

## 辞書

AHD<sup>5</sup> : *The American Heritage Dictionary of the English Language*. 5<sup>th</sup> ed. Boston : Houghton Mifflin. 2011.

AH Guide : *The American Heritage Guide to Contemporary Usage and Style*. Boston : Houghton Mifflin. 2005

CDEU : Todd, L. *The Cassell Dictionary of English Usage*. London : Cassell. 1997.

CGEU : Peters, P. *The Cambridge Guide to English Usage*. Cambridge : Cambridge University Press. 2004.

- CGSAE : Wilson, K. G. *The Columbia Guide to Standard American English*. New York : Columbia University Press. 1993.
- COD<sup>9</sup> : *The Concise Oxford Dictionary of Current English*. 9<sup>th</sup> ed. Oxford : Oxford University Press. 1995.
- Collegiate<sup>10</sup> : *Webster's Tenth New Collegiate Dictionary*. Springfield : Merriam. 1993.
- LDOCE<sup>5</sup> : *Longman Dictionary of Contemporary English*. 5<sup>th</sup> ed. London : Longman. 2009.
- LGEU : Greenbaum, S. and J. Whitcut. *Longman Guide to English Usage*. London : Longman. 1988
- MAU : Garner, B. A. *A Dictionary of Modern American Usage*. Oxford : Oxford University Press. 1998.
- MED<sup>2</sup> : *Macmillan English Dictionary*. 2<sup>nd</sup> ed. London : Macmillan. 2007.
- MEU<sup>1</sup> : Fowler, H. W. *A Dictionary of Modern English Usage*. Oxford : Oxford University Press. 1926.
- MEU<sup>2</sup> : Fowler, H. W. *A Dictionary of Modern English Usage*. Revised by Sir E. Gowers. Oxford : Oxford University Press. 1965.
- MEU<sup>3</sup> : Fowler, H. W. *A Dictionary of Modern English Usage*. Revised by R. W. Burchfield. Oxford : Oxford University Press. 1996.
- OALD<sup>8</sup> : *Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English*. 8<sup>th</sup> ed. Oxford : Oxford University Press. 2010.
- OED : *Oxford English Dictionary Online*. 2012. Oxford : Oxford University Press.
- WALD : *Webster's Advanced Learner's English Dictionary*. Springfield : Merriam. 2008.
- WDEU : *Webster's Dictionary of English Usage*. Springfield : Merriam. 1989.
- 寺澤芳雄『英語語源辞典』研究社. 1997.
- 著書
- Baron, D. (1986) *Grammar and Gender*. New Haven : Yale University Press.
- Graddol, D. and J. Swann (1989) *Gender Voices*. Oxford : Blackwell.
- Holmes, J. (1993) "Sex-Marking Suffixes in Written New Zealand English." *American Speech* 68. 4. : 357-370.
- Lakoff, R. (1975) *Language and Woman's Place*. New York : Harper & Row.
- Miller, C. and Swift, K (1988) *The Handbook of Nonsexist Writing*. 2<sup>nd</sup> ed. New York : HarperPerennial.

## Feminine Suffixes in English

### ABSTRACT

The purpose of this article is to examine the distribution of some feminine suffixes in English and to discuss the way these suffixes are used. Fowler (1926) once discussed the use of the nouns with feminine suffixes and predicted that the day would come when feminine forms for vocation-words were a special need of the future, with the coming expansion of vocations open to women. Contrary to Fowler's prediction, the use of feminine suffixes has declined and has become less acceptable due to the influence of feminism

In this article, I observe several feminine suffixes such as *-ette*, *-trix*, and *-ess* and how they are used in the context of present-day English. I argue that *-ette* and *-trix* forms are of limited use. On the other hand, I demonstrate that *-ess* is the most common form among feminine suffixes, but that a reduction in the use of *-ess* forms over time is apparent. Besides, it is shown that forms in *-ess* convey negative connotations and that they tend to have derogatory meanings: *author* and *authoress* definitely have different connotations. While a number of forms with masculine suffixes such as *-er* or *-or* are also used for females, there still remains the use of *-ess* forms in English. I argue that the frequency of the use of *-ess* forms differs from word to word, i.e. some forms with *-ess* are still in use and others are no longer in use.

**Key Words:** gender, feminine suffix, masculine suffix